



第46期 事業報告書

2016年4月1日から2017年3月31日まで



エヌアイシ・オートテック株式会社

株主の皆様には平素から格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第46期（2016年4月1日から2017年3月31日まで）の事業の概況及び決算につきましてご報告申し上げます。

経営環境

当連結会計年度における世界経済は、先進国を中心に緩やかな回復基調で推移しました。米国では好調な企業業績を背景に個人消費も緩やかに回復傾向で推移し、ユーロ圏では緩和的な金融政策と中立的な財政政策等によって、景気回復が続きました。しかしながら、中国をはじめとする新興国の景気動向や英国のEU離脱問題、さらには米国の新政権発足に伴う政策変更等によって、為替相場や株式市場が大きく変動し、経済環境は不安定に推移いたしました。

わが国経済におきましては、企業収益に弱さがみられるものの改善傾向となり、景気は緩やかに回復基調で推移いたしました。個人消費につきましては、海外経済の減速懸念や不透明感等によって、依然として厳しい状況で推移いたしました。

通期連結業績及び取り組み

このような状況のもと当社グループは、FA装置（FA:Factory Automation/「自動化・省力化装置」をいう。）及びロボット関連機器等にも使用される当社主力製品『アルファフレーム®システム』の大口案件を順調に受注するとともに、国内外の自動車部品製造企業向け洗浄装置や検査装置、さらには有機ELやLCDといったフラットパネルディスプレイ（以下、「FPD」という。）製造企業向けの大型カスタムクリーンブース等、当社グループの技術力を活かした提案型営業活動を展開して順調に売上高を伸ばしました。

これらの結果、当連結会計年度の売上高は、8,088百万円と前年同期と比べ1,911百万円（31.0%）の増収、営業利益は、832百万円と前年同期と比べ269百万円（47.8%）の増益、経常利益は833百万円と前年同期と比べ267百万円（47.4%）の増益、親会社株主に帰属する当期純利益は、551百万円と前年同期と比べ187百万円（51.7%）の増益となりました。

なお、上記の各利益は、連結決算となってから2期連続、個別業績では3期連続で最高益を更新する結果となっております。

当社グループは、2016年度から2020年度までの5ヵ年を期間とする中長期経営計画として、その最終連結会計年度における売上高・事業の規模を倍増する計画を掲げております。

この計画に基づき当社グループでは、当連結会計年度を「倍増計画元年」と位置づけ、当社が株式を上場して以来、最大となる大型設備投資を計画いたしました。その第1弾として2016年8月に、今後、大きな成長が見込まれるASEAN地域での生産設備等の「自動化の波」にお応えすべく、当社の連結子会社であるNIC Autotec(Thailand) Co.,Ltd.に対し、機械設備拡充と財務基盤強化を図ることを目的に増資を実施いたしました。

次に第2弾として、今後のIoT（Internet of Things/モノのインターネット）時代を見据え、業務及び生産の効率化、集約化を図り、特にFA装置等の受注拡大を目指す重要な拠点として機能させることを目的に、新工場（名称:立山事業所）の建設を決定し、2016年8月に工場用地（富山県中新川郡立山町前沢）を取得するとともに、同年11月より建設工事に着手いたしました。

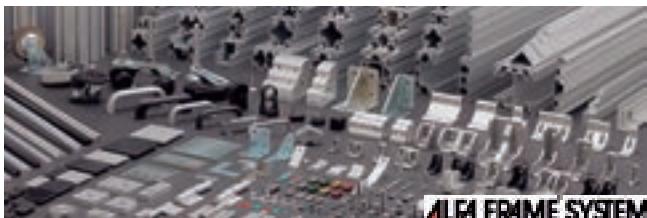
さらに第3弾として、益々需要が高まる当社主力製品である『アルファフレーム®システム』を、お客様のお手元へいち早くお届けできるようにすべく、埼玉県に出荷センター（名称:アルファフレーム北関東）の開設を決定いたしました。本出荷センターは、関東を中心とした東日本のお客様へのサービス向上を図ることのみならず、海上輸送、航空輸送等の利便性によって、海外のお客様からのニーズにも迅速にお応えできる体制構築の一環として、関東エリアに開設することとしております。

また、前連結会計年度より取り組んでいる業務効率化の一環として、主力工場の業務システム及び既存設備の更新、さらには新規機械設備の導入等にも注力いたしました。

このように当社グループは、業容拡大に向けて積極的な投資を推進し、社内設備の増強を図るとともに、技術者の雇用拡充にも取り組んでおります。



立山事業所 完成図（2017年6月竣工）



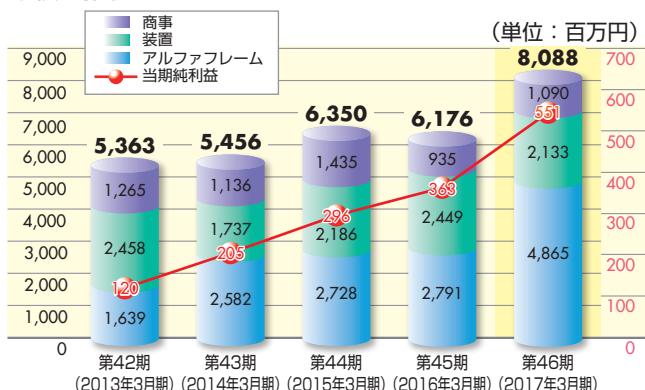
配当金

当社は、将来の収益力向上を図るために継続的な研究、開発投資を行いながらも内部留保の確保を図りつつ、「株主に対する利益還元」を重要な経営課題の一つとして捉え、経営成績やキャッシュ・フローの状況などを勘案し、株主の皆様にご理解していただけるよう安定的及び継続的な配当を実施していくことを基本方針としております。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく設備投資や研究開発活動に充当する予定であり、資金を有効に活用して企業価値向上を図っていく方針であります。

これらの方針に基づき、当連結会計年度における業績は順調に推移し、各利益は当初予想値より大幅に増加となったことから、2017年5月12日に開催されました取締役会では、過去最高の1株あたり普通配当30円とすることが決議されました。

業績の推移



(注) 当社は、第45期より連結計算書類を作成しております。上記の業績数値に関しましては、比較有用性の観点から第45期以降のセグメント別売上高と、第44期以前のセグメント別売上高との増減比較の推移を表示しております。従いまして、第45期以降の当期純利益は、親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。

次期の見通し

今後の見通しにつきましては、地政学的リスクの高まりが見受けられることや、米国新政権による政策運営の動向などにより、経済の減速が懸念される先行き不透明感を払拭できない状況で推移するものと予想されますが、好調な半導体・FPD関連企業の投資は継続することが見込まれ、また、自動車関連企業も品質の向上、安定化を図る投資や電気自動車や燃料電池自動車に関連する開発投資についての活発な動きが期待されます。

このような状況のなか、次期においても半導体・FPD関連企業において、FPD製造装置用の大型カスタムクリーンブースや同装置の筐体として使用される『アルファフレーム®システム』の需要は高く推移することが見込まれており、当社としては、グループ独自の拡販ツールである『カクチャ™』及び『マーキングシステム™』を活用し、付加価値を高めたアルミニウム合金製構造材として販売に注力してまいります。

また、当社グループが提供する自動車部品製造企業向けのFA装置（洗浄装置、検査装置）については、高い評価を獲得しておりますが、さらなる顧客ニーズを的確に捉え、顧客満足度向上に努めた営業活動を展開し、受注確保に注力してまいります。

以上より、次期（2018年3月期）の連結業績見通しにつきましては、本年6月より立山事業所及びアルファフレーム北関東が始動し、イニシャルコスト（設備導入費や人員増強による労務費等）の増加が見込まれますが、各拠点については垂直立上げを計画しており、第3四半期以降にはその負担をカバーした上で順調な推移を見込み、通期の売上高8,348百万円、営業利益849百万円、経常利益849百万円、親会社株主に帰属する当期純利益561百万円と、各利益は連結決算となってから3期連続で最高益を更新する見通しであります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2017年6月
代表取締役会長 CEO 西川 浩 司

事業の内容

Description of Business

地球環境にやさしくリサイクル性に優れたアルミ構造体「アルファフレーム®システム」の開発・設計・製造・販売を行う「アルファフレーム部門」。

アルファフレームの特長を活かし、各種工場で使用されるFA装置（洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化装置）及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行う「装置部門」。

上記2部門のメーカー機能を活用した設備導入提案営業及び工業生産財を取り扱う「商事部門」。

これら3部門の相乗効果による高付加価値技術の提供を目的とした事業展開を行っております。



アルファフレーム + 装置 + 商事

高付加価値技術





アルファフレーム部門



マシンカバー



架台

ALFA FRAME® SYSTEM



Automobile
Semiconductor/FPD/Clean
Microelectronics/Machine
Pharmaceutical/Food

日本の自動化装置業界で長年の実績を持つ“アルミ構造体モジュール&システム”「アルファフレーム®システム」は、多種のアルミニウムプロファイルとその接続ブラケット及びアクセサリパーツで構成された機械構造用アルミニウム合金製フレームです。各種装置の筐体やカバーを製作するための最適なプロファイル、パーツを揃えております。

お客様の効率化を適切にフォローする「カクチャ™」、組立に必要な情報をフレームにプリントする「マーキングシステム™」、「ナット付フレーム」などのサービス拡充により、アルファフレーム導入の促進に貢献しております。

■ アルファフレームの優れた特長

1. 充実した製品群

ベーシックフレーム・ブラケットフレーム・スペシャルフレームから各種アクセサリまで、幅広い製品ラインアップで、お客様のあらゆるニーズにお応えいたします。

2. 仕様変更等も容易

溶接・塗装などの、わずらわしい工程が不要なため、急な設計変更や将来の増設にも容易かつ柔軟に対応することが可能です。

3. 幅広い分野に適應

機器取付部材の材料をはじめ、作業台や棚などの工業用品、さらには展示会用システム材など、多彩な分野で使用されております。



Marking System™

アルミフレームトータルサポート・サービス[カクチャ]

KAKCHAR™

カクチャ™+マーキングシステム™ +ナット付フレームの相乗効果



①設計サポート：設計サポートにより設計時間の短縮や過剰品質のコスト増を抑えます。また、図面番号での発注が可能になります。②マーキングシステム：マーキングに合わせて取り付けるため、組立時間の4割を占める「部材を探す、寸法を測る、手順を考える」といった作業時間削減が可能となります。③ナット付フレーム：フレーム溝にナットセットが入った状態で納入されますので開梱後すぐに組立が行えます。①～③の相乗効果により、時間、労力など「見えにくいコスト」の削減に大きく貢献いたします。

■ 幅広い分野で使用されております

装置メーカーとして長年培った技術と知識で、様々なニーズに対応し、電子、精密、医療、食品などの幅広い分野で使用され、高い評価をいただいております。



電子メーカー様



精密機器メーカー様



製薬メーカー様



食品メーカー様



アルファコンパ



セーフティカバー



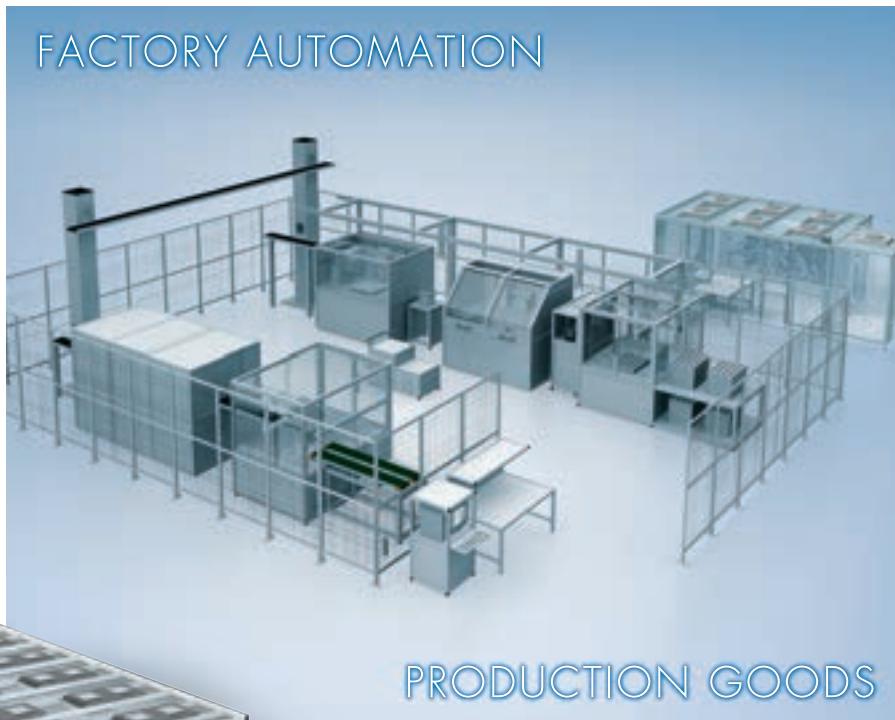
ワゴン



セル生産架台

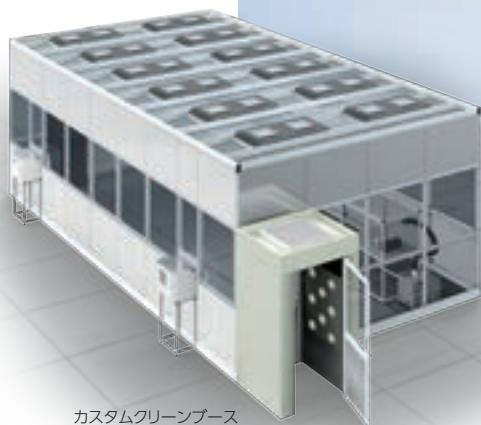


装置部門



FACTORY AUTOMATION

PRODUCTION GOODS



カスタムクリーンブース

カップ式洗浄機NCシリーズ
カップ式クーラント回収装置CRシリーズ



新たな分野へ積極的に参入することでノウハウの蓄積を行い、半導体・電子・精密機械・医薬品・食品業界まで、あらゆる用途に応じたFA装置(洗浄・検査・搬送・梱包等の自動化・省力化装置)及びクリーンブース等の開発・設計・製造・販売を行っております。

「アルファフレーム®システム」を基本部材として使用することにより、各種装置製作の効率化や短納期化が可能となります。

また、仕様を規格化した製品だけでなく、生産ライン構築の個別ニーズに対応し、お客様の必要に応じた様々な製品開発も行っております。

商事部門



工業用砥石、工具・ツールなどの消耗品と工場等の機械設備を提供しております。

工業用砥石、やすり、工具・ツールなどの消耗品は、リピート受注が多いことが特長となっており、この安定した消耗品関係ビジネスが、当社の安定的な収益にも大きく貢献しております。

また、装置部門との連携により当社製品を活用した機械設備(生産ライン)の導入提案等を行い、多種多様なお客様のニーズにお応えする製品を提供しております。



工具・ツール



工業用砥石



油脂類



工作機械

トピックス

Topics

当社グループは、2016年度から2020年度までの5カ年を期間とする中長期経営計画として、その最終連結会計年度における売上高・事業の規模を倍増する計画を掲げております。この計画に基づき当社グループでは、当連結会計年度を「倍増計画元年」と位置づけ、当社が株式を上場して以来、最大となる大型設備投資を計画いたしました。

Topics 1

海外子会社へ増資を実施

2016年8月に、今後、大きな成長が見込まれるASEAN地域での生産設備等の「自動化の波」にお応えすべく、当社の連結子会社であるNIC Autotec (Thailand) Co., Ltd.に対し、機械設備拡充と財務基盤強化を図ることを目的に増資を実施いたしました。

発行新株式数：60,000株
発行価額：1株につき1,000タイバーツ
増資額：60,000,000タイバーツ
(日本円：179,400千円)
(増資後)
発行済株式の総数：70,000株
資本金の額：70,000,000タイバーツ
当社出資比率：99.857%



Topics 2

立山事業所の新設

更なる事業拡大に向けて生産体制の強化を図るため、新工場（立山事業所）を建設いたしました。本事業所は、今後のIoT（Internet of Things/モノのインターネット）時代を見据え、業務及び生産の効率化、集約化を図り、FA装置等の設計・製作を主体としてスタートいたしますが、近い将来には、クリーン装置（クリーンブースやクリーンベンチ等のクリーン関連機器）やロボット関連機器・装置等の分野にも対応できるよう設備を整え、装置事業の重要な拠点とする予定であります。

所在地：富山県中新川郡立山町前沢2178番1

設備投資額：8億5,000万円（土地、建物及び建物附属設備、機械設備等）

敷地面積：6,388.59㎡

延床面積：2,742.00㎡

構造：鉄骨造2階建



2017年6月竣工

Topics 3

北関東に出荷センターを開設

益々需要が高まる「アルファフレーム®システム」を、お客様のお手元へいち早くお届けできるようにすべく、出荷センターの開設を決定いたしました。本出荷センターは、関東を中心とした東日本のお客様へのサービス向上を図ることのみならず、海外のお客様からのニーズにも迅速にお応えできる体制構築の一環として、海上輸送、航空輸送等の利便性を鑑みて関東エリアに開設することを決定いたしております。

名称：アルファフレーム北関東

所在地：埼玉県児玉郡神川町元阿保309

開設日：2017年6月



2017年6月開設

会社の概要 (2017年3月31日現在)

社名	エヌアイシ・オートテック株式会社 NIC Autotec, Inc.
設立	1971年5月17日
資本金	156,100千円
従業員数	183名
事業所	
本社	〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号
東京本社	〒135-0063 東京都江東区有明三丁目7番26号 有明フロンティアビルB棟11階
流杉工場	〒939-8032 富山県富山市流杉255番地
立山工場 ／開発センター	〒930-0272 富山県中新川郡立山町塚越 398番176号
愛知事業所	〒458-0801 愛知県名古屋市区鳴海町 母呂後185番地
アルファフレーム関西	〒578-0965 大阪府東大阪市本庄西 二丁目4番29号
アルファフレーム九州	〒837-0907 福岡県大牟田市四箇新町 一丁目2番地

海外子会社

NIC Autotec(Thailand)Co.,Ltd. タイ王国サムットプラカーン県

役員構成 (2017年6月24日現在)

代表取締役会長	CEO	西川浩司
取締役社長		西川武
取締役副社長		西尾謙夫
常務取締役		土山邦夫
常務取締役		野村良一
常勤監査役		藤島敏夫
社外監査役		土屋重義
社外監査役		白石康広

会計監査人

有限責任監査法人トーマツ

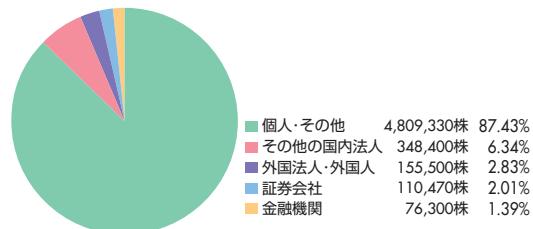
東京都港区港南2-15-3 品川インターシティC棟

株式の状況 (2017年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 20,000,000株
 (2) 発行済株式の総数 普通株式5,500,000株
 (自己株式51,274株を含む)
 (3) 株主数 2,026名
 (4) 大株主の状況

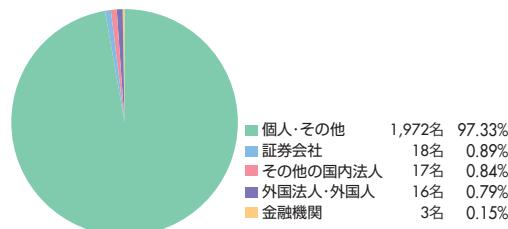
株主名	持株数
西川浩司	3,704,900株
三協立山株式会社	202,500株
エヌアイシ・オートテック従業員持株会	130,600株
ダイトー株式会社	70,000株
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	58,172株
株式会社三井住友銀行	50,000株
西川武	50,000株
植田潤次郎	45,000株
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	40,300株
楽天証券株式会社	34,500株

(5) 所有者別株主分布状況 (所有株式数)



(注) 自己株式51,274株は、「個人・その他」に含まれております。

(6) 所有者別株主分布状況 (株主数)



(注) 自己株式は、「個人・その他」に含まれております。

証券コード 5742
事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 期末配当金 毎年3月31日
(中間配当を行う場合は9月30日)
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

単元株式数 100株

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪府中央区北浜四丁目5番33号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先) 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎.0120-782-031(フリーダイヤル)
(インターネットホームページURL) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【公告の方法】

当社のホームページに掲載いたします。

〈 <http://www.nic-inc.co.jp/> 〉

ただし、事故その他やむを得ない事由により電子公告によることができないときは、日本経済新聞に掲載いたします。

【上場金融商品取引所】

東京証券取引所 JASDAQスタンダード

※株式に関するお手続きについて

1. 配当金受け取り方法のご指定、単元未満株式の買取、住所氏名等のご変更、株式の口座振替申請のお申出先について
証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引のある証券会社にお申し出ください。
2. 未払い配当金のお支払い、その他株式事務に関する一般的なお問い合わせ
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

■ ホームページのご案内

- 当社の詳細情報はホームページをご覧ください。

エヌアイシ

検索

<http://www.nic-inc.co.jp/>

- アルファフレーム®の当社直販サイト

<http://www.nic-direct.jp/>



エヌアイシ・オートテック株式会社

富山本社

〒930-0034 富山県富山市清水元町7番8号 TEL 076-425-0738